

西地区近隣校 防災キャンプ

今年度も、地域の皆様と防災に対する危機管理意識を高めるために実施されました。

当会としては、昨年度に引き続き、その趣旨に賛同し「西地区近隣校防災キャンプ実行委員会」のメンバーとして参加しました。

「参加者が、互いに協働する体験を通して、防災に対する意識向上を図る」をテーマに、平成28年7月16日(土)9時から7月17日(日)9時頃迄実施されました。

児童66名の他、10名の三中生ボランティアが各班の班長として参加し、着衣水泳、消防士協会の防災講話、消防団指導の防災体験、夕食準備、リクエーション、防災クイズ、夜間校内探検、起震車体験のカリキュラムで行いました。約30名のスタッフの方々が、各種体験学習や昼食の流しそーめん、棒パンの準備等のお手伝いをして頂きました。

参加した児童からは、

*防災講話がとても役立った。地震の怖さを知った、その時どうすればよいのか判った。

*防災のこと、いろいろな災害のことがよく知れた。

*夜間校内体験や防災クイズが怖かったが楽しかった。

*昼ごはん・夜ごはんがおいしかった。来年も来たい。

等の感想が寄せられました。

キャンプの実施により、参加した子どもたちにとって防災に対する知識や意識が高まったと思います。また、地域住民との交流を図り、相互の親睦を深めることにより、地域の団結力、地域の防災力がさらに向上し、今後の災害被害の減少が期待されます。



「短命県からの脱却をめざして」地域住民の健康づくりの一助になるように、昨年度に引き続き、「あんずましいヨガ教室」と「ノルディック・ウォーク」を開催しました。以下ご紹介します。

短命県からの脱却をめざして①

あんずましいヨガ教室

運動が苦手な方も参加でき、無理なく体がほぐれ、心がリラックスできるので、皆様の健康づくりに役立てて頂きたいと思い、平成28年「7月27日」「8月10日」「8月24日」「9月7日」「9月21日」の5回、いずれも午前10時30分から12時迄「丸山市民館」と「滝内福祉館」で実施しました。

NPO法人日本ヨガ連盟奥崎憲子認定指導員の指導のもと取り組んで頂き、延べ26人の方々に参加して頂きました。

参加された方々からは

- *日ごろの運動不足が解消されたかなと思います。楽しかったです。
- *体の修正をしたいとの日々。忙しく過ごしているので、リフレッシュできるひと時が過ごせて、とても良いです。
- *気持ちのいい1時間半を過ごさせてもらいました。リフレッシュできました。
- *どんくさい私でもどうにか遅ればせながらついていけてます。ありがとうございました。
- *吸う、吐くの呼吸の仕方が良く分かりました
- *午前中のヨガは気持ちよかったです。

等の感想を頂きました。また、奥崎指導員から、参加された方々はヨガを楽しんで頂いたようで良かったです。日程は地区の行事予定も考慮して参加者を増やすようにしたい。とのコメントが寄せられました。今後に生かしたいと思います。



短命県からの脱却をめざして②

ノルディック・ウォークを開催

「豊かな人生をおくれるように健康な体作りを」のテーマのもと、平成28年7月24日(日)と11月3日(日)の2回、いずれも午前9時から11時までの時間帯で実施しました。

それぞれ20名の参加者を得、昨年度と同様に、三内丸山市民館をスタートし、三内丸山遺跡→県立美術館横→運動公園→リバーランド→三

内丸山市民館のコースで約5km歩きました。5名のノルディック・ウォーク公認指導員から、準備運動からストックの使い方、歩き方の指導を受けました。通常のウォーキングと比べて下肢関節にかかる負担が軽減され、上半身の筋肉を積極的に使うので、普及が進むのではと思います。



グリーン 大作戦の実施

「私たちの手できれいな三内地域をつくりませんか」
の呼びかけのもと、平成28年度も2か所で「グリーン大
作戦」を実施しました。

10月2日(日)

午前8時30分から約2時間「沖館川クリーン大作戦」を
実施し、沖館川の西滝橋、西滝第2橋、稲元橋、玉造橋、里見橋までの堤防の清掃活動(ごみ拾い、刈った雑草の袋詰
めやトラックへの詰め込みなど)を行いました。約80名の方々が参加して頂きました。心から感謝申し上げます。

10月24日(日)

午前8時30分から約2時間「三内オータムクリーン大作戦」を実施し、三内中学校周辺地域の清掃活動を行いまし
た。約70名の方々が参加して頂きました。心から感謝申し上げます。

お陰様で、児童・生徒の通学路がきれいになりました。また、地域の皆様が心晴
れやかに生活を送られる一助になったのではと思います。
参加された方々に重ねて感謝申し上げます。



西近野町会のコミュニティ活動 盆踊り大会について

当町会の盆踊り大会は8月20日、1日のみの日程で開催されました。因みに昨年は第9回目で9年間連続して町会内にある空き地所有者より借用して実施してきました。

平成20年の第1回から第4回までは土曜日と日曜日、2日間に亘り開催してきましたが、高齢化社会に伴い、町会役員そして町会の協力者も高齢になり1日のみの開催を余儀なくされました。

さて、7月に実行委員会を立ち上げ、会場にヤグラを建て、テント6張り設置し、テント内に大会本部、模擬店、婦人部による手芸品販売所、来客者の休憩所を配置し、模擬店は生ビール、焼き鳥、焼きそば等7種類の部門をセットしました。

模擬店は町会役員、組長、老人クラブ員、婦人部員そして町会の有志の方々が担当し、毎年好評を得て前売り券や当日券の売り上げは順調に推移してきました。

開催当日は、午後から模擬店の準備に入り、また子ども

も達へのサービスとして「くじ引き」を実施、午後4時過ぎ模擬店を開店するころから会場が賑やかになり、午後6時ごろヤグラの提灯に明かりがさす頃からいよいよ盆踊りが始まり、老若男女そして子どもたちも一緒に元気よくリズムに合わせて踊っていました。

午後8時から好評の抽選会が始まり、あらかじめ各世帯に配布していた抽選券を抽選箱から小学6年生の代表者が取り出し、5等賞(調味料)からスタートし1等賞(お米10キロ)までの間会場は興奮状態になりました。

当町会はコミュニティ活動の一環として盆踊り大会を実施し、住民の親睦と交流を図ることにより、住民の結束と町会の活性化を期待してまいりましたが、このことが今後のコミュニティ活動の基礎になることを願っています。

(文責 小笠原 務)



編集後記

今回は、今年度の主な事業をまとめて掲載し発行しております。

町会活動の紹介のほか、昨年度に引き続き、皆様の関心の強い「防災の危機管理意識の高揚」につながる事業、「短命県からの脱却をめざして」につながる事業や「きれいな三内地域づくり」につながる事業をまとめています。

関係者の皆様の御協力に心から感謝申し上げます。

当会の事務局長が昨年9月体調不良により急に入院し、退院後静養に努めるとのことで、年度内の事務局長への復帰は不可能で、来年度も難しいとのことでした。

計画した事業が残っているので、急遽、会長が事務局長として、また、会計事務も処理し、計画事業の推進をしてきましたが、広報紙について対応が遅れて今の時期の発行になりました。会員の皆様に心からお詫び申し上げます。

事務局長、会計としてご協力頂ける方がおりましたら、手を挙げて頂きたいと思います。推薦する方がおりましたお知らせください。「あんずましいさんない」は、地域の住みよいまちづくりを目指して貢献していきたいと思います。

引き続き、ご支援、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ・連絡先】 あんずましい三内地域を目指す会 080-1800-4758(木立)